

年末の消費ブーム予想で 指数が上昇

2014年第4四半期見通し - ハイライト

- 全セクターで楽観的な見方が広がり、指数は卸売、サービス、金融・保険・不動産セクターが60%と最も高く、これに建設、輸送、通信および公益セクターが45%で続き、最も低いのは製造セクターの32%
- 景況感指数全体と6つの各指数すべてにおいて、前四半期比で上昇を記録
- 全体の景況感指数は、前四半期のわずか10%から37%増の47%を記録。指数が最も高かったのは売上高と純利益で共に67%、続いて新規受注の53%と在庫の40%が続く。販売価格(26%)と従業員数(25%)が最も低いとはいえ、前四半期からは大幅に改善

2 四半期連続で回復基調にあった経済が、やっと離陸の時を迎えるようです。今年9か月間のGDP成長率は5.6%を記録し、今年上期の5.2%からさらに改善しました。セクター別では、製造で8.6%、建設で6.3%、不動産サービスで2.9%となり、第3四半期の成長の主な牽引役となる一方、農業は3%、サービス全般は6%という安定的な成長率を維持しました。

主として教育費の値上がりから9月にインフレ率が上昇しましたが、全体としては年初来で2.25%といまだ低水準にあり、引き続き需要が弱いことが示唆されています。しかしながら、2014年の年初来9か月間の小売販売は、前年同期の5.4%から6.2%に増加し、消費水準は維持されていると言えます。

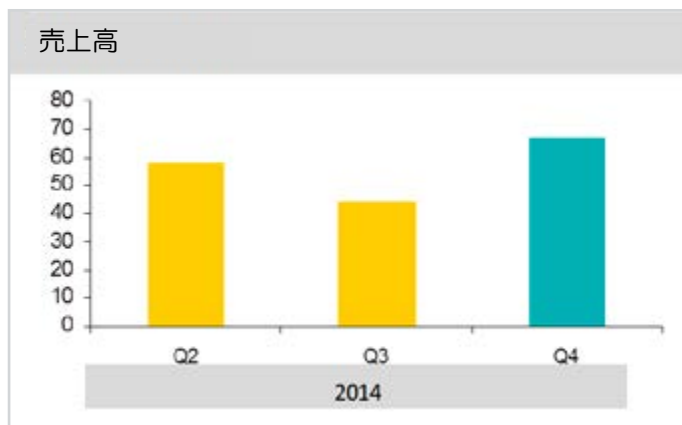
2014年の年初来9か月間の海外直接投資(FDI)は、件数ベースでは前年同期比で34%増加しましたが、資本総額ベースでは前年同期比で-18%と減少しました。これは前年と比べて巨大プロジェクトが存在しないことが原因ですが、それに加えて、ベトナム政府が自国により有利なFDI方針を検討していることも考えられます。不動産市場の回復を受け、製造、建設、不動産サービスの各セクターがFDIの大半(合計で86%)を引き付けています。一方で海外からの送金額は依然として安定しており、年初からの累計額は89億米ドル(前年同期比で3%増)となっています。

9月の輸出高は若干減少して124億米ドル、これに対する輸入高は130億米ドル(前月比微増)で、9月の貿易収支は6億米ドルの赤字となりました。それでも2014年の年初から9か月間の貿易収支は24億米ドルの黒字(輸出が1,096億米ドル、輸入が1,072億米ドル)で、携帯電話、繊維製品および衣類、そして前年同期比で最高の輸出成長率を記録したフットウェア製品の輸出に牽引され、年度末まで黒字で推移することが見込まれています。

貿易黒字、安定的なFDIの流入、堅調な海外からの送金額を背景とした国際収支(BOP)の黒字が、安定した為替相場を下支えするものと思われます。いずれにしてもベトナム中央銀行(SBV)は、おそらくは先手を打つ目的での、相場基準値の若干の切り下げの可能性を示唆しています。

数々のプラスの要因を背景として、今四半期の景況感指数が前四半期比で大きく改善し、さらには第1四半期をも超えるなど、経済全体に新たな楽観論が広がっています。要因として考えられるのが、南シナ海における中国との対立が安定化し、第3四半期に景気が加速したことです。この広範な楽観の見通しは、経済のあらゆる構成要素やセクターに広く及んでおり、指数が大きく上昇したところもあります(50ポイント以上)。回答者の多くは、最終四半期における年末消費の盛り上がりを予測し、売上高と純利益の増加を見込んでいます。しかしながら販売価格は、現在の低インフレ水準を背景にまだ低水準にとどまっています。また過去三四半期にわたる需要の低迷が、従業員数の景況感指数が低い主な理由であると思われます。

売上高



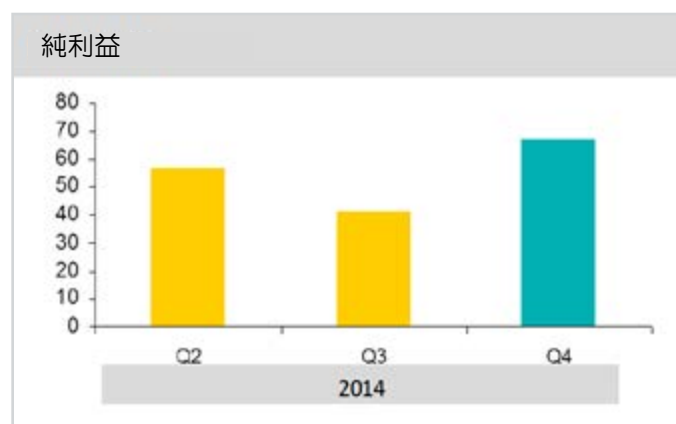
売上高

今四半期の売上高の景況感指数は、伝統的な年末の消費急増を今年も予想していることと、不動産市場の回復によって、製造を除くすべてのセクターで前四半期と比べ大幅に上昇しました。この楽観ムードの牽引役は卸売セクターで、これにサービスと金融・保険・不動産セクターが続いており、これらのセクターでは80%を超える回答者が、今年最終四半期における売上高の増加を予想しています。全体としては、前四半期の53%に比べて、今四半期は73%の回答者が売上高の増加を見込んでいます。前四半期比で唯一低下傾向にある製造セクターでも、売上高の増加を予想する回答者は59%に上り、前四半期の61%を若干下回る程度となっています。したがって、この製造セクターにおける例外的な動きは、過去三四半期の安定したGDP成長という全体のトレンドにあっては、無視できる範囲にあります。

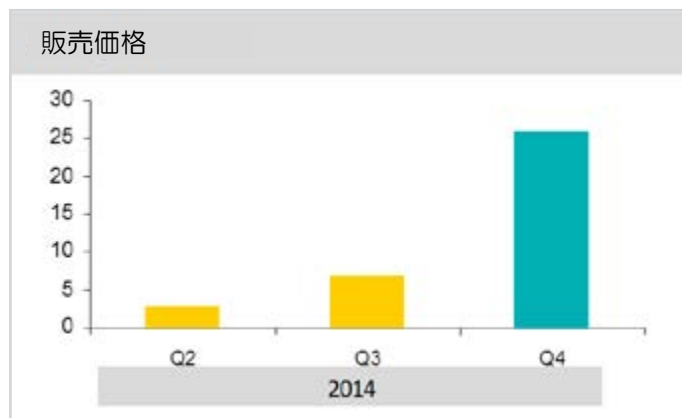
純利益

売上高における楽観的な見通しの拡大に足並みを合わせる形で、今四半期の純利益の景況感指数も、製造セクターを除くすべてのセクターで、前四半期と比べて上昇しました。製造セクターでも、56%を超える回答者が純利益について前向きな見通しを示し、純利益の減少を予想したのはわずか10%となりました。売上高と同様に、卸売セクターは非常に楽観的で、ほぼ90%の回答者が、今四半期の純利益の増加を予想しています。これにサービスと金融・保険・不動産セクターが続きます。全体の景況感指数は67%となり、売上高と同値になりました。

純利益



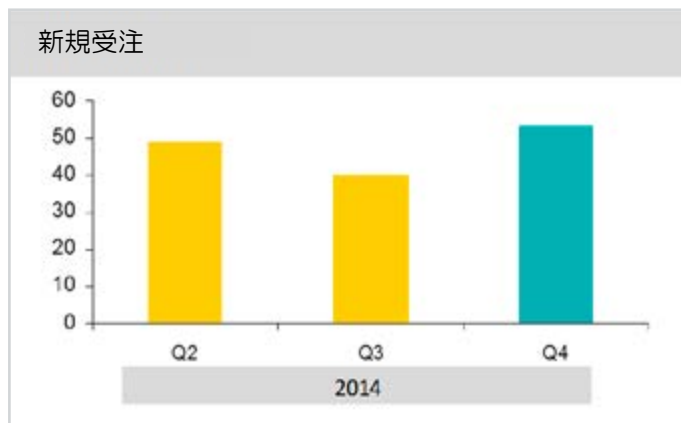
販売価格



販売価格

今四半期の全体としての販売価格の景況感指数は、前々四半期、前四半期比で大きく上昇しましたが、概して65%の回答者が今の販売価格を維持する見込みです。これは、現在の低インフレ率を考えれば当然と言えます。一方で、卸売セクターの回答者の実に88%が、販売価格の引き上げを見込んでいます。これは年末の消費ブーム期待による、売上高と純利益の全般的な楽観論に沿ったものです。

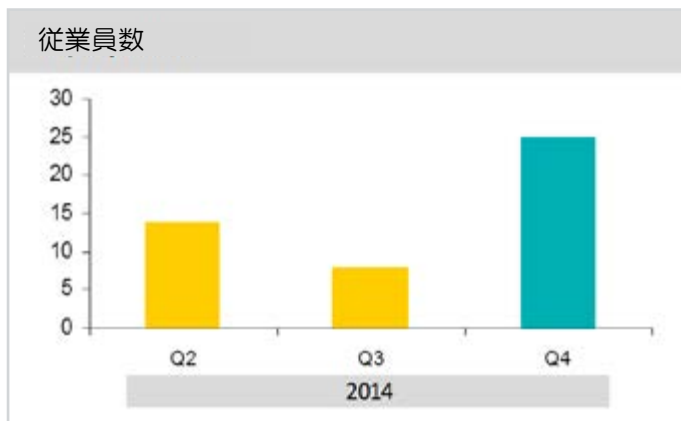
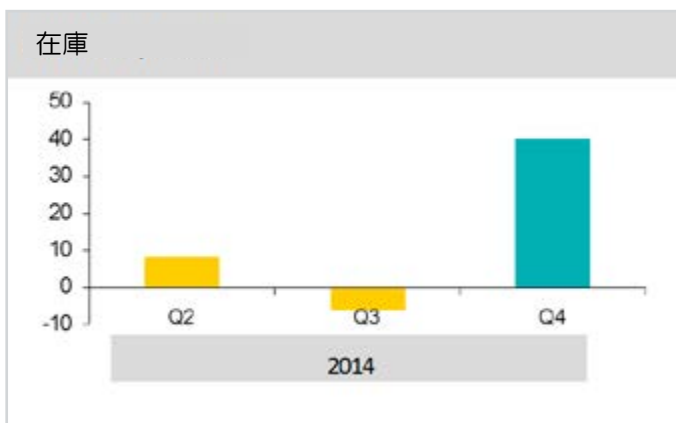
新規受注



今四半期の新規受注において最も楽観的なのは、最近の不動産市場の前向きな兆しを背景とした金融・保険・不動産セクターです。84%の回答者が新規受注の増加を予想しており、前四半期比で63ポイントの増加、前年同期比で76ポイントの増加となりました。全体としては、全セクターの回答者の約57%が新規受注の増加を予想し、横ばいと予想したのは38%でした。全くの予想外だったのが、全セクターの中で景況感指数が大きく落ち込んだ卸売セクターであり、前四半期比で15ポイント減、前年同期比で45ポイント減となりました。この理由の1つとしては、年末商戦分の受注が既に前四半期中に終わってしまったことが考えられます。

在庫

在庫の景況感指数は、過去4四半期から大きく上昇し、前四半期の-6%に対し、今四半期は40%となりました。特に建設セクターでは、80%の回答者が今四半期の在庫の増加を予想し、前四半期比で100ポイント増、前年同期比で180ポイント増という桁違いの上昇を記録しました。同様に、卸売セクターも非常に楽観的で、74%の回答者が在庫の増加を予想しました。ここでも、年末のお祭りシーズンに不動産市場の回復が時を重ねたことがその理由となっています。一方で製造セクターの景況感指数は、前四半期比で横ばいの25%となり、このセクターではむしろ慎重な見通しが示唆されています。



従業員数

繁忙期の年末シーズンに合わせ、今四半期は前四半期の8%から17ポイント増の25%と、従業員数の増加が見込まれています。すべてのセクターで、60~70%という大半の回答者が、従業員数に変化はないと予想しています。建設セクターは、乾季の到来と不動産市場の回復を受けて、前四半期の-10%から今四半期は15%に回復しました。輸送、通信および公益、サービスセクターも、年末における景気の高まりを受けて、景況感指数が前四半期よりも上昇しました。

景況感指数 (BOI) レポート

D&B景況感指数レポートは、ビジネス界が景気に対して抱く印象を測定したもので、投資家にとって信頼できるベンチマークになる商品として評価されています。D&B景況感指数は、四半期毎の景況感調査に基づいて出されます。長年のうちに、この四半期毎の調査は、対象各国の経済活動のターニングポイントを示す有数の指標になってきました。

調査方法

本調査の実施において、サンプルは農業、建設、電気、金融、製造、鉱業、サービス、輸送、卸売などの業種により構成されたD&Bデータベースから無作為に抽出しています。

本調査回答者全員に、所属企業が売上高、純利益、販売価格、新規受注、在庫、従業員数という重要指標に関して、次の四半期は前年同期比で増加するか、減少するか、変わらないか見通しを示していただくという6つの標準的質問にご回答いただきました。各要素の指数については、増加すると予測した回答者のパーセンテージから、減少すると予測した回答者のパーセンテージを差し引いて計算しました。特に明記しない限り、各指数の増減は前四半期からの増減を指しています。

解説および分析：

ベトナム ホーチミン市オープン大学大学院長／准教授 グエン・ミン・ハア博士



ダンアンドブラッドストリート® (D&B) について

ダン・アンド・ブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億2,500万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。この質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。